

自らの可能性を発見する

学部学生のための科学・バイオテクノロジー夏期研究プログラム

アムジェン・スカラーズ・ジャパン・プログラムでは学部学生を対象に、日本屈指の二大学での実践的な研究体験の場を提供いたします。アムジェン財団は12年にわたって世界中のアムジェン・スカラーズ・プログラムに5,000万ドル以上を提供しており、これまでにすでに数千人の学生がこのプログラムに参加しています。

将来の科学者を育成

アムジェン・スカラーとなった学生には、以下のような機会があります。

- 大学の重要な研究プロジェクトに参加し、実践的な研究を体験し、科学の進歩に貢献することができます。
- 学術研究に携わる日本有数の科学者をはじめとした大学教授陣と接し、その指導を受けることができます。
- 科学分野のセミナーやワークショップ、交流イベントなどに参加できます。

ジャパン・プログラムの受け入れ大学



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

アムジェン・スカラーズ・ジャパン・シンポジウム

本プログラムの大きな特徴であるシンポジウムでは、産業界及び学术界で活躍する一流の科学者たちの話を直接聞くことができます。ジャパン・シンポジウムは東京もしくは京都のいずれかにて開催され、学生達が研究内容について議論したり、各地から集まったアムジェン・スカラーたちと交流したりする貴重な機会となります。



対象研究分野

- 生物化学
- 生物工学
- 生物情報学
- 生物心理学
- バイオテクノロジー
- 化学・生物分子工学
- 化学
- 免疫学
- 医科薬理学
- 微生物学
- 分子・細胞・発生生物学
- 分子遺伝学
- 分子医学
- 分子薬理学
- 神経生物学
- 神経科学
- 病理学
- 生理心理学
- 生理学
- 統計学
- 毒物学

奨学金制度

アムジェン・スカラーズ・プログラムの重要な要素の一つに奨学金制度があります。制度の内容は受け入れる大学によって異なります。詳細については、各大学の夏期研究プログラムのウェブサイトをご覧ください。

応募資格

アムジェン・スカラーズ・プログラムには、以下の方が応募できます。

- 学士号(またはそれと同等の学位)を取得できる世界各国の大学に所属する学部学生であり、かつ
- サマープログラム開始時までには学部1年生を終了していること、かつ
- サマープログラム開始時までには学士課程を修了しておらず、またサマープログラム終了後に引き続き学士課程を少なくとも1セメスターもしくは1クォーター履修する予定であること。

ジャパン・プログラムの応募者には、次の条件も必要となります。

- 成績優秀であること。
- 英語力については、次のいずれかを満たすこと。
TOEFL (iBT) 72 以上、IELTS オーバーオール・バンド・スコア 5.5 以上、
Cambridge English FCE 以上、
TOEIC 1095 以上、TOEIC L&R 785 以上、または TOEIC S&W 310 以上
- 博士課程進学に興味があること

日本の2つの受け入れ大学への応募手続きはそれぞれ異なります。ただし、応募締め切りはどちらの大学も2月上旬です。

ジャパン・プログラムに関する質問は、各受け入れ大学にお問い合わせください。

京都大学 Tel : 075-753-2489 電子メール : amgenscholars@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

東京大学 Tel : 03-5841-0297 電子メール : amgenscholars.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

アムジェン・スカラーズ・プログラムは、アムジェン財団が資金を提供し、マサチューセッツ工科大学とケンブリッジ大学による指導と技術的支援を受けた国際的なプログラムです。アムジェン財団は次世代のイノベーターを育成すべくサイエンス教育の発展を追求するとともに、アムジェンの従業員が生活を営む地域社会の強化を目指しています。これまでに、アムジェン財団は魅力的かつ革新的な方法で、社会に影響を及ぼしている地方・地域・国際的 NPO に対し 2.5 億ドル以上を寄附してきました。加えて、アムジェン・スカラーズ・プログラムやアムジェン・バイオテック・エクスペリエンス、そしてアムジェン・テックなどの特徴あるプログラムを通じ、未来の科学者たちに発見することの感動を与える様々な機会を提供しています。詳細については、アムジェン財団のウェブサイト(<http://www.amgeninspires.com>)や、ツイッター(<http://www.twitter.com/amgenfoundation>)をご参照ください。